

令和3年度 学校運営協議会 会議実施報告書

- 1 会議名 大垣桜高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和3年9月28日(火) 午後1時00分～2時00分
- 3 開催場所 大垣桜高等学校 インテリア総合実習室
- 4 参加者

会長	原 善孝	大垣市墨俣地域事務所 所長
副会長	堀 あゆ美	岐阜県社会福祉協議会 生活支援部 主査
委員	高木 久	墨俣一夜城(歴史資料館) 館長
	土岐 朝之	特別養護老人ホームあすわ苑 施設長
	横井 圭子	墨俣児童館 館長
	浦野 真由美	育友会長
	学校側	安田 ゆかり
	柴田 幸美	教頭
	早野 宏樹	教頭
	長沢 達郎	事務長
	瀬下 裕基	教務主任
	須藤 亜由子	生徒指導主事
	西村 佐英子	進路指導主事
	郷 絵美	家庭部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 本年度の取組について

- ・スクール・ポリシー
- ・教務部
- ・生徒指導部
- ・進路指導部
- ・家庭部
- ・県立学校体育施設開放事業

(2) 主な意見

- 意見1：毎年、地域と連携した取組を行っており、とてもありがたい。墨俣地区は人口が減少していない。地域に戻って活躍してくれる人材を育ててほしい。
- 意見2：本校を卒業して15年が経つ。当時も志が高い生徒が多く、遠くの地域から通学してくる生徒も少なからずいた。本校で土台を作り、将来どのような仕事に就きたいか、どのような生活を送っていききたいかということを踏まえた学習が今の仕事に生かしている。
- 意見3：新型コロナの感染拡大を防ぎながら、3年間の学びを深めてもらいたい。
- 意見4：自ら考え、主体的に・・・というフレーズが前面に出ているが、どのようにすることが自ら考えることになるのか、考えるプロセスも丁寧に指導してもらいたい。
- 意見5：コロナ禍であるため、交流できない、実施できない行事等が多い。現1・2年生は、従来の学校行事、学校生活が経験できていない。できる限り経験させてほしい。
- 意見6：(福祉関係で)利用者を支える人材育成を大切にしたいが、介護実習等の受け入れが難しい現状がある。ワクチン接種が進めば、個人的には本校生徒を受け入れて実習をさせたい。
- 意見7：スクール・ポリシーから、育てたい生徒像の具体化ができていると感じた。墨俣保育園で大

垣桜高校の卒業生が保育園実習に来た際に指導したことがあるが、育てたい生徒像の具体的な姿を感じられた。

意見 8 : 今回は感染防止の観点から授業参観がされなかったが、授業ではどのように実践力を身に付けさせているのか、授業見学をさせていただきたい。

意見 9 : 深い学びにつながるようディスカッションをたくさん取り入れ、いろいろな考えを受け入れ、自分の考えをまとめ、人に伝えることができる人材を育ててほしい。

意見 10 : 自分の高校時代と比べると、とても深い学びができていると思う。

意見 11 : タブレットを用いた学習において、生徒はとてもスムーズに行っているようである。

意見 12 : 各種の行事が中止されているが、卒業研究作品発表会は是非、生徒が実際に見学できるように工夫してもらいたい。3年生にとっては、3年間の学習の集大成であり、1・2年生は、今後の学習の目標になっていく。オンラインや録画を見るのと、実際に見学するのでは感じるものが違う。

意見 13 : スクール・ポリシーにより、本校の目指すところが具体的で分かりやすくなる。

6 会議のまとめ

今回は、感染症拡大防止の観点から授業参観を中止した。しかし、各分掌の取組について説明し、委員の皆様より貴重な意見が得られた。第3回の学校運営協議会では授業参観を行い、生徒の様子や卒業研究作品発表会の生徒たちの活躍、学習成果をふまえて協議会を実施したいと考えている。